

# 質 問

△清水議員▽  
 ①現在、本町では11カ所を指定避難場所としており、その中には平成31年4月より、滝上高校が使えないにも関わらず、そのまま指定



**問** 災害時の避難場所の集約を  
**答** 災害に応じて臨機応変に対応する

△長屋町長▽  
 ①旧滝上高校は、現在、避難場所として使用することは事実上出来ない。一旦指定を外したい。早急に代替えの避難所を指定する予定はない。  
 ②災害発生時に指定避

されている。  
 必要な避難場所であれば、早急に代替地を指定すべきではないか  
 ②1カ所の避難所には町の職員が最低でも2名は必要だ。避難所ごとの不公平感を是正するためにも、市街地の諸施設の整った大型避難所へ集約化の必要があると思うが、如何か  
 ③11カ所全てが洪水・河川氾濫時の避難場所としても指定されているが、平屋の避難場所ではなく2階建て以上の鉄筋コンクリートの小学校を基幹避難場所とするべきではないか

△清水議員▽  
 特に高齢者が心配しているのは、冬期間の大雪と停電。避難所へ行く手段を持たない方々へ手を差し伸べるのが行政だと思う。  
 また、飼っている犬や猫を置いていけない等の話も聞く。  
 そのような声を拾っていくことが重要と考えるが。

難所を開設するのではなく、状況を踏まえて開設する。  
 災害に応じて避難所の有無を判断するので、最初からこの場所という集約は考えていない。  
 ③避難所の開設は、指定された避難所の中から予想される災害の区域、気象状況に応じ開設を判断するので、小学校を特定避難所と優先しての開設は今のところ考えていない。

△長屋町長▽  
 高齢者の移動手段は本町において大きな課題の一つである。  
 困難な方については町などが車両で行うということになるが、大規模な場合は自衛隊等、色々な機関に要請する。臨機応変に対応しなければならぬ。  
 まずは町内会、その他の関係機関と連携して要援護者の支援体制をつくっていきたい。  
 現在ペットの、具体的な取り扱いについては定まっておらず、ペットのいる場所とない場所を分けての整理は今のところされていない。  
 テントを張るなどして、屋外を基本として対応せざるを得ないと考えている。



# 般

## 問 浮島湿原、天塩岳 登山道の再整備は 答 整備は難しい

△清水議員▽  
①現在、浮島湿原に行くには浮島トンネルを抜け上川町側からのみで、浮島湿原内に整備されている木道や本町側のルートは完全に閉鎖されている。本町側のルート整備を網走西部森林管理署と、上川中部森林管理署及び関係機関に働きかける考えはないか。

②長く滝上町の観光地として紹介されていたのに、今は町のホームページにも浮島湿原の紹介文がない。湿原に対する町の姿勢に変化があったのか。③昭和53年に天塩岳登山道、渚滑川滝上ルートが整備されたが、現在ではその用を成していない。本町の有望な観光資源と考えるが、再整備するために、網走西部森林管理署及び関係機関と協議検討する考えはないか。

△長屋町長▽  
①浮島トンネル手前からの旧国道滝上町側は現在町道である。道路の整備は市街地区、農村地区等の生活産業道路を優先的に整備しているの、いつ整備できるかは未定である。現在、上川側浮島湿原入り口は整備されて

いるので滝上側を整備するのではなく、観光客等に対して上川側を利用するように、続けてご案内をしていきたい。湿原内の木道は、上川中部森林管理署が担当であり、整備をされていくものと思っっている。②非常に良い貴重な観光資源である考えに変わりはない。今後とも現地ガイド等について、観光協会など関係団体の協力をいただいきたい。ホームページでは見

ごろにあわせた紹介は行っているが、今後浮島湿原という項目建てをしていく。③渚滑川滝上ルートは、利用者が少ないことから数年前に森林管理署より整備を行わないという通知があり、町は承諾をしている。町としては、新たに

渚滑川登山ルートの整備は非常に難しいと考えている。

△清水議員▽  
①旧国道が林道として活用することがあった時には、あわせて浮島へのルートも整備してもらおうよう要望してはどうか。③ある登山のグループから、滝上側は、携帯電話もよくつながるので下山ルートにできないかという声を聞いた。任期中に調査、検討できないか。

△長屋町長▽  
①林業の施業や、林道として利用をするという場面が出た時は、あわせて話しをしたい。③どの程度の登山者がいるのか、滝上側を下山ルートにして欲しいというニーズがどのぐらいあるのか調査した上で検討ということになる。